

平成22年新年賀詞交歓会を開催

内 発 協

内発協は1月12日、東京・飯田橋のホテルグランドパレス3F白樺の間で、「平成22年新年賀詞交歓会」を開催した。会場には内発協の正会員のほか、経済産業省、総務省、国土交通省、消防庁、委員会委員を務める学識経験者、関係団体などから合計231名が参加して、新年の門出を祝った。同日の賀詞交歓会では、吉田藤夫会長の開会挨拶に続いて、来賓挨拶として、経済産業省原子力安全・保安院電力安全課長の櫻田道夫氏、総務省消防庁予防課長の濱田省司氏、国土交通省住宅局建築安全調査室長の香山幹氏の3氏がそれぞれの立場から祝辞を述べた。来賓挨拶の後、内発協副会長の中村直生氏（コマツディーゼル株式会社取締役社長）の乾杯の発声で懇親へと移った。開宴から約2時間が経過した頃、内発協副会長の久保山英明氏（デンヨー株式会社取締役社長）による中締め挨拶で閉会した。

吉田藤夫会長の開会あいさつ

新年あけましておめでとうございます。本日は、当協会の賀詞交換会に多数お集まり下さりまして、ありがとうございます。関係官庁からは、来賓として原子力安全保安院電力安全課長の櫻田道夫様、消防庁予防課長の濱田省司様、国土交通省住宅局建築安全調査室長の香山幹様にご臨席頂いており、ありがとうございます。昨年は、世界的な経済不況の中にあつて、日本経済の景気回復は弱く厳しい年で終わりました。今年は情勢が好転し本格的な回復の年になってほしいと思います。中国など新興国の回復は進んでいるようですし、我が国も、通常国会審議待ちの第二次補正予算案や新年度予算案、緊急経済対策等をできるだけ早く投入し、本格的な景気回復の実をあげてほしいと思います。寅年の虎の強いイメージにあやかり、景気が力強く回復し成長軌道に乗ってほしいものです。

さて、当協会業務の役割・意義は、自家発電装置等に感電、火災等の事故や故障が発生しないよう、また非常時の自家発電装置等が必要な時にいつでも確実に起動して必要な保安電力を供給できるよう、認証業務等を通じて品質性能を確保し、以て公共の安全に資することです。これは、いわば安全性と信頼性を確保する仕事であり、この安全性と信頼性の確保は社会が存続する基盤として欠かせないものです。経済情勢がどんなに変わろうとも、現在のような不況下であっても、その重要性が低下するものではありません。世の中の高度情報化が進みリスク対策が重要になっていますし、また、近年、台風、集中豪雨等の自然災害が目立っていますが、このような災害時の安全対策構築の一環として同装置等に係る安全性や信頼性の確保は益々重要になっています。

新年に際して今一度、このような協会業務の役割・



会員、来賓など231名が新年の門出を祝った



開会のあいさつをする吉田藤夫会長

意義の重要性を改めて再認識し、今後も引き続き国際基準に則った客観性、公平性、透明性の高い製品認証機関として、また、消防法に基づく権威ある登録認定機関として、認証業務を適正に行っていく所存です。併せて自家発電装置や可搬形発電装置を適切に取扱う専門技術者の養成、民間規格の整備、資格者等の技術レベルを高めるための調査研究、必要な情報の発信・提供を的確に行うなど、自家発電装置等の保安体制の維持・強化を図るといふ協会の使命を踏まえつつ、皆さまのお役に立つよう、取り組みを強めて参りたいと考えています。また、公益法人改革への対応については、昨年5月の総会において、平成23年度に「非営利型一般社団法人」への移行申請を目指すことで承認されたのを受け、鋭意準備を行っているところであり、遺漏ないように進めていく所存です。

最後になりますが、景気は依然として厳しい局面にありますが、皆さまにはこの1年、厳しい経済環境に打ち勝って輝かしい希望の年となりますよう会員各社のご発展を祈り、また、ご列席の皆さまのご健勝を祈り、新年のご挨拶とさせていただきます。